

保護者の皆様

豊能町立吉川小学校
校長 太田 美和

学校教育自己診断の結果報告について

1. はじめに

早春の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

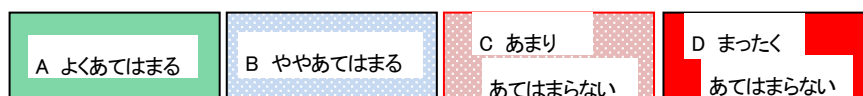
さて、本年度12月に実施いたしました「令和4年度学校教育自己診断（保護者用）」の集計結果と本校としての考察結果をお知らせいたします。

筆記回答につきましては、いただいた全てのご意見は貴重な提言として受け止めさせていただくこととし、本分析結果には記載しないことをご了承くださいますようお願いいたします。

アンケートにつきましては、同時に行った児童用・教職員用のアンケート結果も合わせてその結果を分析し、学校協議会に報告し、委員の皆様のご意見ご提言をいただきました。

アンケートの集計結果やいただいたご意見につきましては、今後の学校運営に活かすよう努めてまいりたいと存じます。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

2. 結果報告



(1) 学校運営に関すること

項目	R4	R3	R2
1 学校教育方針や活動内容を理解している。	39 (A), 56 (B), 6 (C), 0 (D)	36 (A), 61 (B), 3 (C), 0 (D)	48 (A), 45 (B), 7 (C), 0 (D)
2 学校は、保護者・地域の願いに応えている。	52 (A), 43 (B), 6 (C), 0 (D)	39 (A), 54 (B), 7 (C), 0 (D)	53 (A), 40 (B), 5 (C), 2 (D)
3 学校は雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。	74 (A), 22 (B), 4 (C), 0 (D)	67 (A), 33 (B), 0 (C), 0 (D)	69 (A), 31 (B), 0 (C), 0 (D)
4 子どもは、学校や学級は楽しいと言っている。	63 (A), 33 (B), 2 (C), 2 (D)	70 (A), 28 (B), 2 (C), 0 (D)	70 (A), 23 (B), 5 (C), 2 (D)

No.1『学校教育方針や活動内容を理解している』

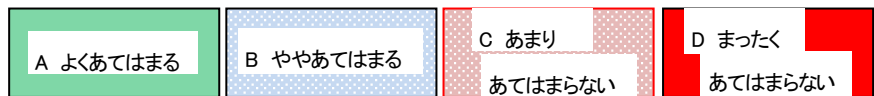
ここ3年間、肯定的評価(A+B)が90%以上の評価をいただき、保護者の方が学校教育方針や教育活動を、肯定的に評価をしてくださっていることがうかがえます。本校の重点教育目標は、「よしかわの教育の推進」です。これまで本校が大切にしてきた「よしかわの教育」をどう進めていくべきか、教職員は協議し、保護者・地域の皆様のご意見も聞かせていただきながら、本校の子どもたちの実態と課題に正対した教育活動を進めております。

この数年の重点教育目標を、学校再編を見据え「とよの教育の推進」としてきました。「とよの未来科」の学習を通して「とよの」について学ぶことも大切にしながも、吉川の地域や吉川の財・人材を生かした「よしかわならではの教育」を、学校再編までの3年間、大切に進めていきたいと考えています。「吉小っていいな。」「吉小がすきだな。」と、子どもたちにも保護者・地域の方にも思っていただけの学校運営に努めて参りたいと思います。

No.2『学校は、保護者・地域の願いに応えている』について、「よくあてはまる」の評価が増加しました。コロナ感染症対策を行いながらも、できるだけのことをして教育活動をすすめてきたことを評価いただいたと考えます。今後も保護者・地域の願いを受け止め、教育活動を進めていくことに努めていきたいと思ひます。

No.3『学校は雰囲気がよく、子どもたちは生き生きしている。』No.4『子どもは、学校や学級は楽しいと言っている。』について、学校の雰囲気がよく子ども達が生き生きとしていることや、子ども達が楽しく学校生活を過ごせることは、教育活動の最大の目標といえます。しかし『子どもは、学校や学級は楽しいと言っている。』について評価が減少していることを真摯に受けとめ、子どもたちの思いや願いに耳を傾け、子どもにとって楽しい学校とは何かを求め、子どもたちが、学校が楽しいと思える学校運営と教育活動に努めていきたいと思ひます。

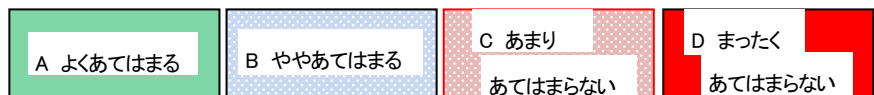
(2)学習に関すること



5	子どもは、授業が楽しくわかりやすいと言っている。	R4	54	46	0	0
		R3	57	41	2	0
		R2	46	46	5	0

No.5『子どもは、授業がわかりやすいと言っている。』

今年度、「子どもたちが進んで参加する授業づくり」「子どもの発言を他の子どもの学びにつなげる授業づくり」の研究を進めてきました。今後も授業研究を重ねて、子どもたちが共に学び合いつながらる授業、子どもたちが楽しくわかる授業づくりに努めていきたいと思ひます。



(3)学校生活について

6	子どもは、学校に友だちがいると言っている。	R4	85	9	6
		R3	82	18	0
		R2	73	23	2

7	学校は、いじめや暴力・体罰のない学校づくりに取り組んでいる。	<table border="1"> <tr> <td>R4</td> <td>54</td> <td>35</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>60</td> <td>33</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>57</td> <td>39</td> <td>4</td> </tr> </table>	R4	54	35	7	R3	60	33	5	R2	57	39	4
R4	54	35	7											
R3	60	33	5											
R2	57	39	4											
8	学校は、子どもの生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。	<table border="1"> <tr> <td>R4</td> <td>59</td> <td>37</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>61</td> <td>39</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>64</td> <td>34</td> <td></td> </tr> </table>	R4	59	37	2	R3	61	39		R2	64	34	
R4	59	37	2											
R3	61	39												
R2	64	34												
9	子どものことについて、気軽に先生に相談できる。	<table border="1"> <tr> <td>R4</td> <td>67</td> <td>28</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>66</td> <td>31</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>72</td> <td>24</td> <td>3</td> </tr> </table>	R4	67	28	4	R3	66	31	3	R2	72	24	3
R4	67	28	4											
R3	66	31	3											
R2	72	24	3											

No6『子どもは、学校に友だちがいると言っている。』について、日々の学校・学級生活の中で、友人・仲間関係のことで悩んだり、トラブルを起こしたりすることはありますが、総じて子どもたちは「学校に友だちがいる」と思い、学校・学級での集団生活を過ごしていることに安堵します。しかし肯定的評価が減少していることを真摯に受け止め、子どもたちの様子を見守り、人間関係の悩みや困りごとの相談に耳を傾け、児童全員が楽しく学校に来られるような集団づくりに努めていきたいと思います。

No7『学校は、いじめや暴力・体罰のない学校づくりに取り組んでいる。』について、集団生活ではいじめなどが起きうることを念頭に置き、子どもたちを注意深くみて、一人ひとりの思いを聞き、不安のないように対応していきたいと思います。学校全体ではいじめの未然防止の取り組みを進め、毎学期「ここにアンケート」を実施し、いじめ・体罰等の実態把握に努め、個々の問題対応に努めていきます。また、いじめ防止の取り組みの様子について、学校だより等を通じて保護者の方々に情報発信したいと思います。

No8『学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てようとしている。』について、本校は、少人数で一人ひとりの気持ちが尊重され個別対応を行える面があります。子どもたちの個性は様々で、一人ひとりに合う指導や支援の実施に教職員は努め、それぞれの違いを認め合おうとする子どもたちを育てています。今後とも、学習規律や社会のルールを守ることについては、注意喚起することどまらず、その意義を子どもたちに丁寧に説明しながら、子どもたちに向き合い、その定着に努めていきたいと思います。

No9『子どものことについて、気軽に先生に相談できる。』について、コロナ禍で来校いただく機会が限られておりますが、いつでもご相談いただき、保護者の方々の声を聴かせていただければと思います。またSSW（スクールソーシャルワーカー）やSC（スクールカウンセラー）等の制度もありますので、必要に応じてご相談いただければ、教育相談の機会をもたせていただきます。

(4) 教育環境に関すること



Item No.	Description	R4	R3	R2
10	通知表や個人懇談で、学習や学校生活の様子がわかる。	69	30	2
		72	25	3
		76	21	3
11	学校は、保護者や地域の人々が授業を参観する機会を十分設けている。	74	22	4
		64	28	6
		67	28	3
12	吉小緊急メールは、役に立っている。	69	28	2
		75	20	3
		72	24	2
13	地域の方や(学生)サポーターの協力を得ながら学校教育を進めていることに共感できる。	80	20	
		77	21	2
		76	22	2

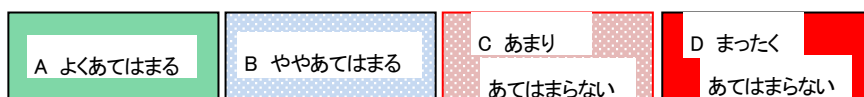
No.10『通知表や個人懇談で、学習や学校生活の様子がわかる。』について、個人懇談等で個別にお知らせすることや、学級通信などで学級の様子をお知らせするなど、学習や学校生活の様子がわかるように努めていきたいと思えます。

No.11『学校は、保護者や地域の人々が授業を参観する機会を十分設けている』について、できる限りの感染症対策を行って、運動会、学習発表会、参観を行い、子どもたちの成長や頑張りを見ていただく機会をつくるようにしてきました。今年度は学習発表会や運動会などここ数年コロナ禍で実施できなかった行事を行うことができ、何よりも子どもたちが喜びを感じ、達成感をえることができました。新型コロナウイルス感染症流行が落ち着けば、学校公開や運動会等の学校行事、参観以外でも保護者・地域の方々に授業見学やサポートに来ていただきたいと考えます。

No.12『吉小緊急メールは、役に立っている。』について、吉小メールでは、緊急メールと連絡メールの大きく2種類の連絡をしております。緊急メールでは、天候の急変や感染症などによる緊急下校等の緊急情報を、連絡メールでは連絡情報をお知らせしてきました。

緊急時の対応や体制等、速やかに情報発信するように努め、安全面の充実を図っていききたいと思います。

No.13『地域の方や学生サポーターの協力を得ながら学校教育を進めていることに共感できる』に、高い肯定的評価をいただきました。地域の方・サポーターの方には、登下校見守りや授業支援など、様々な場面でご支援いただいております。「とよの未来科」でもサポーターの方々にご支援いただき、豊かな体験活動を行うことができました。ただ、吉小サポーターの方たちの高齢化が進み、引退されてきていることや、学生サポーター登録が0名であることなど、サポーター制度の在り方については継続検討課題です。今後とも、保護者・地域の皆様に、本校の教育活動をご支援していただけるように考えていきたいと思えます。



(5) 家庭に関すること

14	家族で社会的なルールを 教えている。	R4	63	35	2
		R3	61	34	3
		R2	60	38	2
15	学校のことについて、子 どもと話す時間を持って いる。	R4	54	44	20
		R3	59	36	3
		R2	66	28	6
16	家族は、毎日あいさつを 交わしている。	R4	81	17	2
		R3	88	7	3
		R2	83	13	4
17	毎日、朝ご飯を用意して いる。	R4	93	7	0
		R3	93	2	0
		R2	94	6	0
18	子どもが忘れ物をしない ように意識している。	R4	52	37	7
		R3	49	43	6
		R2	57	38	5
19	学校・学級通信、学校ホ ームページ、連絡文書等 はきちんと読んでいる。	R4	46	46	7
		R3	44	43	11
		R2	54	39	4

家庭に関わるほとんどの項目で、肯定的評価(A+B)が90%以上であり、基本的な生活習慣をはじめとするご家庭の教育力の高さと学校教育へのご支援の高さがうかがえます。本校のご家庭での教育力の高さは素晴らしく、それは優しく素直な子どもたちの姿からも感じ取ることができ、本校の教育力が保護者の方のご理解とご協力のもとにあることと感謝いたします。No.19『学校・学級通信、学校ホームページ、連絡文書等はきちんと読んでいる』についても、ご多忙な中、学校からの便りをよくお読みいただいていることに感謝いたします。今後もこれまでと同様に、学校からの案内に目を通していただき、子どもへ忘れ物がないかの声かけをよろしく願いいたします。

3. おわりに

保護者の皆様には、本アンケートにご協力いただきありがとうございました。

学校運営及び本校の教育活動について、保護者の皆様にご理解をいただきながら、学校運営をすすめていけることに感謝しております。

本校は、少人数学級集団で人間関係が固定化しやすいという課題があります。また、子どもたちは教職員に声がかかりやすく安心できる反面、個別対応に頼ってしまう面もあります。しかし、小学生のうちには、身の回りの大人を

信頼し、特に教職員とは近く親しい関係性の中で、信頼感や安心感が育つと考えます。今後も少人数学校の利点を生かすように、教育活動を進めてまいりたいと思います。また、できるだけ固定的な同年齢集団だけの活動にとどめず、異年齢・縦割り集団での活動も進めてまいります。

コロナ感染症対策で教育活動が制限される中、保護者・地域の皆様には、児童安全見守りや授業支援などをご支援いただき本当にありがとうございました。今後も、学校・家庭・地域が協力して子どもたちを見守り、育んでいきたいと思っています。何卒ご理解ご支援をよろしくお願いいたします。